

漢検

2024年度  
第3回 日本漢字能力検定

ほんかんじのうりよくけんてい  
日本漢字能力検定

ひょうじゅんかいとう  
標準解答(こたえ)

(公財)日本漢字能力検定協会

検定日 2025年2月16日

(一) つぎの――線の漢字の読みがなを  
――線の右に書きなさい。

(30)  
1×30

- ひな祭りの人形を和室にかざる。
- 近くの林でうぐいすが鳴き始めた。
- 白地図に学校の記号を書きこむ。
- 二年生で九九を勉強した。
- 学級文庫に童話の本が三さつ入る。
- 橋の上から深い谷をのぞく。
- 帰りがおそくなった理由を話す。
- 魚つりの道具をそろえる。
- リレーのボタンを右手で受け取る。
- ねる前に部屋の電気を消す。
- 森にいる生き物について研究する。
- つくえの横に本だなをおく。
- 黒い雲が広がり、あたりが暗くなる。
- 店のレジで代金をはらう。
- 雪山が朝日をあびて銀いろに光る。
- 定員百名の会場がいっぱいになる。
- 先生の笛の合図で走り出す。
- 苦手な教科をなくすよう努力する。
- 春には小川の岸にたんぽぽがさく。
- 通学路のどちらに公園がある。

有 研 委 乗 球  
.....  
① ⑤ ② ⑦ ⑤

県 役 員 章 物  
.....  
⑨ ⑦ ⑩ ⑪ ⑧

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに  
書きなさい。○の中に数字を書きなさい。  
(10)  
1×10

- 詩を読んでノートに感想を書く。
- 船よいで気分が悪くなった。
- 雨天がつづいて工事の期間がのびた。
- プレゼントをもらったお礼を言う。
- 外国へ行くおばを空港で見送る。
- 昼休みが終わって教室にもどる。
- 拾ったさいふを交番にとどける。
- みんなの前で自分の考えを発表した。
- ダンス教室の申しこみをする。
- 農家の人が畑で野菜を作る。

(三) (一)の中に漢字を書いて、上とはんたいの  
いみのことばにしなさい。  
(10)  
2×5

一部――(全)部  
教える――(習)う  
勝つ――(負)ける  
重――(軽)い  
心配――(安)心

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。  
(20)  
2×10

こざとへん 太陽 入院  
.....  
ちから 助 動物  
.....  
しよくへん 旅館 飲み水  
.....  
うかんむり 乗客 お守り  
.....  
しんにょう 遊 時 速

――うらへつづく――

# 8級 G

○この答えを見て、書けなかったところは  
どこか、まちがったところはどこか、  
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、  
そのままにしないで、すぐに練習をして  
正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

— お わ り —

(五) つぎの( )の中に漢字を書きなさい。  
(20) 2×10

道路をわたるときは車に(注)意する。

電(柱)のかけが長くのびている。

音楽隊を先頭に大通りを行(進)する。

兄はクラスで(身)長がいちばん高い。

ひこうきに乘って九(州)へ行く。

(集)合時間の十分前に駅に着いた。

薬(局)で子ども用のマスクを買う。

ベートーベンは有名な作(曲)家だ。

切りきずの出(血)が止まった。

科学者になろうと(決)意する。

(六) つぎの——線のカタカナを○の中の漢字と  
おくりがな(ひらがな)で□の中に書きな  
さい。(10) 2×5

〈れい〉(大) オオキイ花がさく。 大きい

1 (流) ナガレルあせをタオルでふく。 流れる

2 (平) やき魚をヒラタイ皿にのせる。 平たい

3 (重) 新聞をたたんでカサネル。 重ねる

4 (急) 電車に間に合うように駅へイソグ。 急ぐ

5 (起) 目ざまし時計の音でオキル。 起きる

(七) つぎの——線の漢字の読みがなを  
——線の右に書きなさい。(10) 1×10

去年から水泳教室に通っている。

夕ぐれのしずかな湖を白鳥が泳ぐ。

屋上にテレビのアンテナを立てる。

屋根につもった雪を下ろす。

幸運にも遠足の日はよく晴れた。

年のはじめに家族の幸せをいのる。

畑の草取りは短時間で終わった。

冬は夏にくらべて日が短い。

かさを反対の手に持ちかえる。

体をゆっくり後ろに反らす。

(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。(40) 2×20

1 むずかしい言(葉)の意味を

辞書で調(べ)べる。

2 町の昔の写(真)を見ながら

当時のくらしについて考えた。

3 タごはんを食べてから、算数の

宿(題)をした。

4 今朝はとても寒(さむ)くて、指先が

氷(こおり)のようにつめたい。

5 なかのよい友だちが転(てん)校して

悲(かな)しかった。

6 日なたと日かげの地(め)面の

温(おん)度をくらべる。

7 坂(さか)道を上っていくと、神(じん)社の

赤いとりいが見えた。

8 たなの商(ひん)品を店の人が

整(せい)理している。

9 世(せ)界(かい)で活やくできる

サッカー選手を目指す。

10 毎年、校(てい)庭のさくらの木に

美(うつく)しい花がさく。